

# あいさつ運動ニュース

NO.89 (3月号)

令和4年3月1日

明日香村教育委員会

## 「あいさつ」が子どもたちの心に浸透しています



明日香小学校・聖徳中学校では、2学期末に、児童・生徒を対象とした生活アンケートを実施しました。アンケートの中に「あいさつ」の項目がありましたので、その結果をお伝えします。

明日香小学校では、2学期をふり返り、「あいさつがよくなったかどうか」を尋ねました。

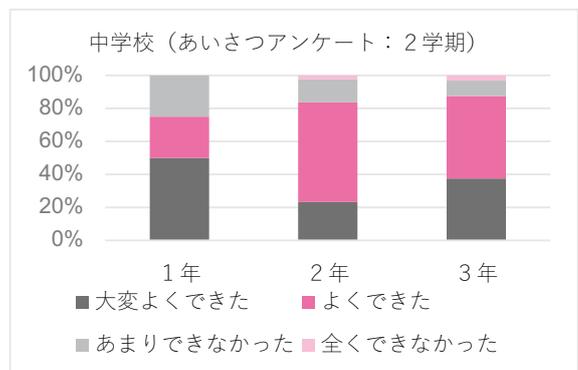
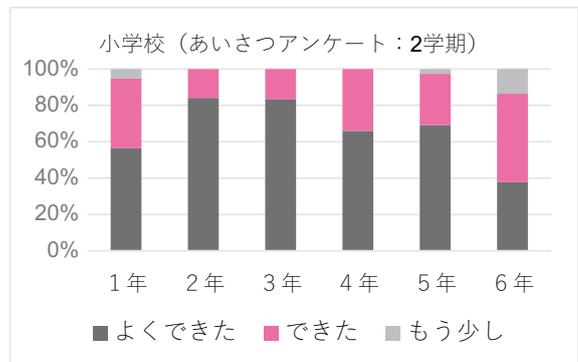
全ての学年で、「よくなった」及び「できた」と答えた子を合わせると80%以上になります。学年が進むにつれて「よくなった」が下がる傾向にありますが、これは成長による変化だと言えます。

小学校の先生からは、「全校や各学級で、コロナ禍でもできるあいさつ運動を工夫しながら取り組みました。取組を続けることで、進んであいさつをする習慣が身についてきているように感じます。」とのお話でした。

聖徳中学校では、「大変よくなった」及び「よくなった」と答えた生徒の割合は、学年が進むにつれて増える傾向にあります。

中学校の先生からは、「年々積み上げられてきているように感じます。しっかり『語先後礼』を実践し、大きな声で来客にもあいさつをしている姿をよく見ます。」と伺いました。

地域による「あいさつ運動」や学校の取組により、あいさつが子どもたちの心に浸透しています。



■明日香村学校・地域コミュニティ協議会に、「奈良保護観察所長感謝状」が贈られました。



「あいさつ運動」や「下校見守り活動」など、9年間にわたり協議会が取り組まれてきた学校への支援活動が、児童・生徒の非行防止や安心・安全な村づくりに寄与しているとして、高く評価していただきました。

これからも、活動へのご支援・ご協力をお願いします。